



はえばる社協だより

ちむぐる

第232号

発行/南風原町社会福祉協議会 編集/社協だより編集委員会



〒901-1104 南風原町字宮平697番地10
 TEL: (098)889-3213 FAX: (098)889-6269
 HP: <https://www.haebaru-shakyo.org>
 E-mail: syakyou@pub.town.haebaru.okinawa.jp

カボチャ

令和3年度「子育て講演会」

～子どもの性教育について学ぶ～

5月11日(火)、講師に徳永桂子氏(思春期保健相談士)をお招きして「乳幼児から始める性の健康教室」と題して子育て講演会を開催しました。

まだ収束しないコロナ禍でしたが、定員を設けてリモート配信などの感染拡大予防対策を行い、会場20人、リモート10人が受講しました。

子どもの成長過程において「性」について、自分自身を守るために、また大人は子どもたちにどう伝えていけばよいかを学ぶ機会となりました。

大人は、お風呂上りなどに下着もつけずにいる子どもに対して「はずかしいから服を着なさい」と言ってしまいが、「はずかしい」ではなく「自分の大切な身体だから服を着て守りましょう」と声かけをする。また「性器は自分だけの特別に大切なところです。誰かが見せて・触らせてとか、見せなさい・触りなさいと言った時は嫌だ!やめて!と言いましょ」と両手を突き出すポーズをつけて子どもと練習し、幼い子にもできる自己防衛法や走って逃げて大人に話すよう教える。「性器に触れる時は、一人になれる場所=自分の家のお風呂やトイレ、自分の部屋やお布団の中=できれいに洗った手で優しく触りましょう」と教える。「赤ちゃんはどこから生まれてくるの?」などの素直な質問に対して、はぐらかすのではなく、絵本なども使って科学的に答えていくことで、親子で「性」について話す関係ができ、子どもが性被害にあったときに打ち明けやすくなる。そのために親が学ぶことが必要。

また、「キスを初めてしたのは何歳のときなの?」など、個人的な性に関する質問には答えなくてもよいなど、わかりやすい言葉で説明をしてくださいました。

受講者からは、「新一年生の親になり、どう話したらよいか分からなかったが、解決した」とうれしい感想もいただきました。



講師:徳永桂子先生



午後の部は、障がい児の父兄や関係者を対象に模型を使った講演会を行いました。



身を乗り出して聞き入るお母さんたち



著書: からだノート～中学生の相談箱(大月書店)
 ココロ♡カラダ不思議つながり(琉球新報社)

ちむぐくんで笑顔あふれる 福祉のまち南風原

令和2年度社協活動の概要報告

本会の令和2年度事業報告と決算が理事会の承認並びに定時評議員会の決議を受けましたので報告いたします。

本会では、創設以来住民のいのちと暮らしを地域で守り、高めていく役割を担い、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、町民の福祉ニーズを受け止め、公的福祉の充実を働きかけるとともに、住民主体の地域福祉活動、在宅福祉サービスを企画・実施してきました。

しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、これまで住民が積極的に関わってきた支えあい・たすけあいの活動に大きな影響を与え、地域で実施されてきた多くの事業・活動が休止となりました。また、本会においても職員による訪問活動の自粛をはじめ事業及び各種研修会等の多くが中止となりました。

そのような状況のなか、町からの補助・委託事業である「生活支援体制整備事業」「支えあいまちづくり事業」においては、高齢者の外出自粛中における生活実態調査の結果をもとに高齢者外出支援ツアーや傾聴ボランティア活動を実施、また、定期的な見守りが必要な世帯を民生委員・児童委員、福祉協力員等が訪問する「友愛訪問事業」においては、感染防止対策を徹底しながら継続的な取り組みを行うなど地域の支えあい・たすけあいの体制づくりを推進しました。

また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象に特例で貸し付けを行う「緊急小

口資金・総合支援資金」には、1000件以上の相談・申込等があり、町民が安定した生活を送れるよう迅速な対応・調整等を行いました。

さらに、「子ども食堂」では、誰もが参加しやすい居場所としてボランティアや地域の事業所等の協力を得て、会食方式からテイクアウト方式に切り替えるなど、なるべく中止をせず実施し見守り体制を意識した取り組みを行いました。

なお、コロナ禍の状況で企業をはじめ町民の皆さまから、食料品及びマスクなど多く寄贈が寄せられ困っている世帯へ配分いたしました。その他にも様々な主な事業を実施しました。実績は次のとおりです。

調査研究及び広報・啓発活動

社会福祉に対する理解を深めるため「社協だより(ちむぐくんで)」の定期的な発行やホームページ・ブログなどを積極的に活用するなど福祉意識の高揚を図りました。

- 低所得世帯の調査
- 企画・広報委員会の開催
- 総務・財政委員会の開催
- 社協だより「ちむぐくんで」の発行・配布

- 地域福祉懇談会の開催(中止)
- 社協ホームページ・ブログの運営
- 福祉施設長等連絡会の開催(中止)

福祉教育及びボランティア活動の推進
福祉教育推進基本方針に基づき、児童・生徒を中心に出席講座の実施をは

じめ、福祉教育推進事業など福祉教育を意識した事業・活動を推進しました。

- 福祉教育連絡会の開催(中止)
- 福祉教育・地域福祉活動実践報告会の開催(中止)
- 福祉教育推進事業
- 町内学校教諭等福祉研修会の開催(中止)

- 総合的学習の時間・出席講座への対応
- 10代のボランティア研修会の開催(中止)
- 音読講座(中止)
- 手話講座の開催
- ボランティア(団体)の登録・斡旋
- チャリティ募金への協力
- ボランティア運営委員会の開催(中止)
- ボランティアプラットホームの開催(中止)
- ボランティア団体連絡会の開催
- 新春さわやかもちつき大会の開催(中止)
- 民間福祉資金の活用・紹介
- ボランティア保険の加入促進

福祉総合相談事業

町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談を実施するとともに専門的な相談・支援が行えるよう弁護士による法律相談、司法書士相談を行いました。

- ふれあい福祉相談室の設置(一般相談、法律相談、司法書士相談)

低所得者福祉に関する事業
経済的な不安を抱える住民に対し、生活福祉資金貸付事業や助け合い金庫貸付事業をおとした支援を行うとともに、フードバンクなどの関係機関と連携しながら食料品や生活用品等の物品を提供するなどの支援を行いました。

- 助け合い金庫(貸付事業)の実施
- 生活福祉資金(福祉資金、新型コロナウイルス特例貸付「緊急小口資金・総合支

- 援資金」などの実施
- 社会的孤立対策事業の実地
- 子ども食堂の開催(会食方式及びテイクアウト方式)
- 食料品・お米券等の提供による援助
- 年末激励金の支給

高齢者福祉に関する事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、各種在宅福祉サービスの提供をはじめ介護予防・健康増進活動、社会参加活動の推進に努めました。

- 在宅介護支援センター運営事業の実施
- 友愛訪問事業の実施
- 高齢者健康づくり推進事業の実施
- 一般高齢介護予防通所事業の実施
- 軽度生活援助事業の実施
- ふれあいコールサービス事業の実施
- 家族介護者交流事業・家族介護教室の実施
- 高齢者外出支援サービス事業の実施
- 生活支援体制整備事業の実施
- 外出自粛中(高齢者)の生活実態調査の実施

- 高齢者外出支援ツアー
- 傾聴ボランティア活動
- 訪問介護事業(介護保険事業)の実施
- 介護予防・日常生活支援総合事業における第1号事業(介護保険事業)の実施

児童福祉、障がい(児)者福祉、ひとり親家庭福祉に関する事業

住民相互の支えあい・たすけあいに安心して子育てのできる環境づくりや障がいのある方の社会参加と自立した社会生活を営むことができるよう各種事業を実施しました。

- 児童福祉月間の広報活動
- こいのぼり掲揚式の開催(中止)
- 子育てサロンの実施
- 子育てサロンサポーター連絡会の開

- ファミリーサポートセンター運営事業の実施
- 養育支援訪問事業
- 居宅介護事業・同行援護事業(障害福祉サービス事業)の実施
- 障がい者スポレク交流事業の開催(中止)
- 県身体障害者スポーツ大会への協力(中止)
- 声の広報等発行事業・福祉機器リサイクル事業(地域生活支援事業)の実施
- 障がい者相談支援事業の実施
- 母子寡婦・父子世帯のためのパソコン教室の開催(中止)

支えあいまちづくり事業、地域支え合い体制づくり事業

小学校区ごとにコミュニティソーシャルワーカーを配置し、アウトリーチによる状況把握や、身近な地域での相談・支援に取り組みとともに、住民相互の支えあい・たすけあいの活動の活性化を目指し、住民参加のもと各種事業に取り組みました。

- コミュニティソーシャルワーカーの配置
- 福祉マップづくり
- 福祉協力員連絡会の開催
- 見守り活動、生活支援活動
- 企業等との見守り協定の締結(情報提供等)
- まちづくりサポートセンターの設置
- 小地域福祉ネットワークづくり推進事業の実施
- モデル地区指定(中止)
- 支えあい・たすけあう地域づくり事業の実施(中止)
- 住民の交流等拠点整備事業の実施(中止)
- 地域づくりを支える人材育成事業の実施(中止)
- 継続支援(宮平地区・北丘ハイッ地区・喜屋武地区)(中止)
- 移動相談所の設置運営

日常生活自立支援事業等の推進
 判断能力が低下した方に対し、安心して地域で生活できるよう、福祉サービス利用や預金通帳の預かりなどの支援や計画的かつ日常的な金銭管理を必要としている方に対し支援を行いました。

○日常生活自立支援事業の実施
 ○日常的金銭管理支援事業の実施

社協会員加入推進
 自主財源の安定的な確保と会員制度をおとした住民参加の促進を目的に実施しました。

会務の運営
 社協の活動方針や事業計画、予算、決算の審議などを行う理事会、評議員会を開催したほか、業務・予算の執行状況の点検を行う正副会長会を毎月開催し、事業総括会議では職員相互で事業及び活動の進捗状況を確認し事業の継続又は見直しなどの検討を行いました。

○理事会、評議員会の開催
 ○評議員選任、解任委員会の開催
 ○正副会長会の開催
 ○福祉基金運営委員会の開催
 ○法人監査の実施
 ○事業総括会議の開催

その他の事業として、チャリティアー芸能公演は中止となりましたが、苦情解決事業、共同募金運動への協力、マイクロボスの貸し出しなどを行いました。

また、福祉団体の支援として、事務局を担うとともに助成も行いました。

資金収支計算書(第一号第一様式)

(自) 令和2年4月1日(至) 令和3年3月31日 (単位:円)

事業活動による収支				施設整備等による収支			
収入		支出		収入		支出	
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
会費収入	5,035,500	人件費支出	149,317,811	固定資産取得支出	1,650,000	ファイナンス・リース債務の返済支出	671,328
寄附金収入	3,365,821	事業費支出	20,856,712	施設整備等収入計(4)	0	施設整備等支出計(5)	2,321,328
経常経費補助金収入	101,666,649	事務費支出	6,380,341	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) △ 2,321,328			
受託金収入	55,471,104	貸付事業支出	20,000	その他の活動による収支			
貸付事業収入	263,750	分担金支出	31,000	収入		支出	
事業収入	707,150	助成金支出	3,343,500	勘定科目	金額	勘定科目	金額
介護保険事業収入	15,632,240	負担金支出	234,008	基金積立資産取崩収入	7,440,000	積立資産支出	7,598,686
障害福祉サービス等事業収入	7,697,790			その他の活動収入計(7)	7,440,000	その他の活動支出計(8)	7,598,686
受取利息配当金収入	84,262			その他の資金収支差額(9)=(7)-(8)			
その他の収入	36,290			予備費支出(10)			1,659,000
事業活動収入計(1)	189,960,556	事業活動支出計(2)	180,183,372	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) 7,297,170			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 9,777,184				前期末支払資金残高(12)			23,186,615
				当期末支払資金残高(11)+(12) 30,483,785			

※ 予備費充当1,659千円は、介護保険事業で623千円(法定福利費支出178千円)、消耗器具備品費支出300千円、職員被服費支出145千円) 障害者福祉サービス事業で1,036千円(非常勤給与支出935千円、法定福利費支出56千円、車輛費支出33千円、保険料支出10千円 器具及び備品取得支出1千円、県共済会退職共済金掛金支出1千円)に充当使用した額である。

事業活動計算書(第二号第一様式)

(自) 令和2年4月1日(至) 令和3年3月31日 (単位:円)

サービス活動増減の部				特別増減の部			
収益		費用		収益		費用	
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
会費収益	5,035,500	人件費	157,632,040	その他の特別収益	0	固定資産売却損・処分損	87,560
寄附金収益	3,365,821	事業費	20,856,712	特別収益計(8)	0	特別費用計(9)	87,560
経常経費補助金収益	101,666,649	事務費	6,380,341	特別増減差額(10)=(8)-(9) △ 87,560			
受託金収益	55,471,104	分担金費用	31,000	当期活動増減差額(11)=(7)+(10) -655,991			
事業収益	707,150	助成金費用	3,343,500	繰越活動増減差額の部			
介護保険事業収益	15,632,240	負担金費用	234,008	前期繰越活動増減差額(12)			49,754,552
障害福祉サービス等事業収益	7,697,790	基金組入額		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)			49,098,561
その他の収益	36,290	減価償却費	1,787,636	基本金取崩額(14)			0
サービス活動収益計(1)	189,612,544	サービス活動費用計(2)	190,265,237	基金取崩額(15)			7,440,000
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) -652,693				その他の積立金取崩額(16)			
				その他の積立金積立額(17)			6,181
サービス活動外増減の部				次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17) 56,532,380			
勘定科目	金額	勘定科目	金額				
受取利息配当金収益	84,262						
その他のサービス活動外収益	0						
サービス活動外収益計(4)	84,262	サービス活動外費用計(5)	0				
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) 84,262							
経常増減差額(7)=(3)+(6) -568,431							

貸借対照表(第三号第一様式)

令和3年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	44,947,599	流動負債	23,429,154
現金預金	39,168,822	事業未払金	6,010,836
事業未収金	5,111,922	その他の未払金	0
未収金	3,562	1年以内返済予定リース債務	167,832
前払金	663,293	未払費用	7,398,040
固定資産	180,549,217	預り金	22,662
基本財産	1,000,000	職員預り金	1,032,276
基本財産特定預金	1,000,000	賞与引当金	8,797,508
その他の固定資産	179,549,217	固定負債	67,730,622
建物	2,314,040	リース債務	0
車輛運搬具	4	退職給付引当金	67,730,622
器具及び備品	3,132,960	負債の部合計 91,159,776	
有形リース資産	167,832	純資産の部	
ソフトウェア	577,317	基本金	1,000,000
助け合い金庫貸付金	2,329,000	基本金	1,000,000
福祉基金積立資産	66,495,570	基金	66,495,570
介護保険事業財政調整基金積立資産	10,309,090	福祉基金	66,495,570
退職給付引当資産	94,223,404	その他の積立金	10,309,090
		介護保険事業財政調整基金積立金	10,309,090
		次期繰越活動増減差額	56,532,380
		(うち当期活動増減差額)	-655,991
		純資産の部合計 134,337,040	
資産の部合計	225,496,816	負債及び純資産の部合計	225,496,816



10代のボランティア研修会 参加者募集!!



手話体験・ブラインドサッカー体験してみよう!! (町内外の中学校・高校に通う生徒募集します)

福祉体験活動(手話・ブラインドサッカー体験)をとおして人と人の絆の大切さを肌で感じ、自分たちができることをともに考え、ボランティア精神を培うことを目的に中学生・高校生を対象とした研修会を開催します。

町内の学校(南風原中学校、南星中学校、南風原高校、開邦高校)に通う生徒は、学校を通して募集いたしますので、福祉教育担当の先生にご相談ください。

なお、南風原町内に居住し町外の学校に通う中学生・高校生で研修を希望する方は、下記まで直接お申込みください。

日 程	令和3年 7月30日(金) 10:00~15:00 【講話・ワークショップ・手話体験】
	7月31日(土) 14:00~16:30 【ブラインドサッカー体験】
	8月 2日(月) 10:00~12:00 【活動報告書作成】
	8月18日(水) 14:00~ 【活動報告会】
参加対象者	ボランティア活動に関心のある町内外の中・高校生 ※全日程に参加できる方を募集します
定 員	15人
申込締切り	令和3年7月15日(木)



ブラインドサッカーって知ってる?!

- パラリンピックの正式種目!
- 老若男女問わず参加できる!
- 視覚障がい者と健常者が同じピッチで戦えるサッカー!
- 「コミュニケーション」が大切な競技!

ゴールキーパー以外がアイマスクを着用し、音の出るボールを使用する、いわゆる「見えないサッカー」です。

※夏休み期間内での開催を予定しています。

夏休み期間または、新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、日程変更・中止する場合があります。詳しくは、南風原町社協へお問い合わせ下さい。

お問い合わせ:南風原町社会福祉協議会(担当:外間、具志堅) TEL.(098)889-3213

社会福祉法人 千尋会「嬉の里」

介護に関することなどお気軽にご相談下さい。

事業種目

- ・介護老人福祉施設 嬉の里
- ・嬉の里 ショートステイ
- ・嬉の里 デイサービス
- ・嬉の里 指定居宅介護支援事業所
- ・特定有料老人ホーム おつみ寮
- ・委託事業(南風原町社協委託)
- ・給食サービス

— 短時間パート募集中 —

ご案内図

沖縄県南風原町字新川 538 番地
TEL (098) 888-0591
FAX (098) 889-8420

介護支援センター とぎ

入所、デイサービス利用など介護に関することなら何でもお気軽にご相談下さい。

各種事業

- 居宅介護支援 (無料介護相談、ケアプラン作成等)
- デイサービス (要支援・要介護者の通所介護)
- 住宅型有料老人ホーム (家庭的雰囲気の中で、利用者1人ひとりに寄り添った介護サービスの提供)

南風原町字宮平426番地19(北丘ハイイツ内)
TEL(098)888-0515 ホームページ:toki-kaigo.com

再掲 令和3年度 第1回家族介護教室

「コロナ禍における認知症予防とフレイル」

～高齢者が心身の健康を維持できるように～

期 日 7月27日(火)
時 間 午後1時30分～3時30分
場 所 ちむぐる館 ホール
講 師 金城 寿 氏
きんじょうひさし
 (南部医療センター・こども医療センター)
 認知症看護認定看護師
対 象 介護されている家族
 また介護に関心のある方
参加費 無料
申込締切 7月13日(火)



お問い合わせ: TEL (098) 889-3502 (担当: 大城、大湾)
 南風原町在宅介護支援センター (南風原町社協内)

ふくレクイズ!! Vol.3



Q1 目の不自由な人が道にまよってしました。行き方を教えてあげたいのですが、どのように言えば伝わるでしょうか。

- A 「あその角をこっちに曲がるとスーパーがありますよ」
- B 「まっすぐ10メートルくらい進んだところの右側にスーパーがありますよ」

Q2 エレベーターに乗ると大きな鏡がついていることがあります。何のためにあるのでしょうか。

- A 車いすの人が後ろ向きでエレベーターをおりるときに後ろの安全をたしかめるため
- B エレベーターの電灯で中をより明るくみせるため

※答えはこの社協だよりの中にあるよ！

**子育てサロン
に参加しませんか**



子育てサロンは、社協会費や赤い羽根共同募金などで運営され、自治会の協力を得て開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年のような活動が十分できない状況がありますが、ちむぐる館にて各サロンのサポーターさんに協力して頂き開催しています。

和やかな雰囲気の中、他の親子との交流、リズム遊びや絵本・紙芝居の読み聞かせ、また、たんぽぽ広場(津嘉山保育園)の出前保育の時は、製作、パネルシアターなど親子で楽しむことが出来ます。

「普段とは違う子どもの姿が見られて楽しい」「家では日中2人で過ごすことが多いが、サロンに参加すると子ども同士遊ばせることができるので参加が楽しみ」というご意見がありました。

子育てされている皆さまが、子育ての悩みを共有する事で、ヒントを得たり、新たな発見があったりします。親子で安心して楽しめる居場所づくりに取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞお気軽にご参加下さい。

※事前予約が必要です。(定員10組) お問い合わせ: TEL. (098) 889-3213 (担当: 金城)
 日程・サロンの様子をブログでも紹介しています♪

新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止することがあります。休止や再開に関しては、ブログ等にてお知らせ致しますので、南風原町社会福祉協議会のホームページをご確認ください。

医療法人 正清会

理事長 与儀 英明

久田病院

精神科・心療内科・老年精神科
※ 認知行動療法を実施しています。

〒901-1101 南風原町字大名275番地
 TEL. 098-889-3206 FAX. 098-889-5311
 URL : <http://kudahp.jp/>
 E-mail : kuda-ph@tea.ocn.ne.jp

介護老人保健施設 **うりずん**

〒901-1301
 与那原町字板良敷1281-1
 TEL. 098-944-7000
 FAX. 098-944-7003
 E-mail : urizun@eos.ocn.ne.jp

就労継続支援B型事業所
ライフサポート久田

〒900-0014
 那覇市松尾2-15-27
 TEL・FAX. 098-867-7890

お困りごと・悩みごとの解決は、 コミュニティソーシャルワーカーにお任せください!

コミュニティソーシャルワーカー(以下「CSW」)は、平成22年度に配置、活動をスタートして以来、子育て世帯やひとり暮らし高齢者、経済的に困っている世帯など、様々な悩みや問題を抱えている皆さんの相談・支援を地域の民生委員児童委員と連携して行っています。

【事例1 突然、住むところを失った方】

家族との関係が悪く、突然、別居を迫られた方に対し、住居の確保のための物件情報の提供をはじめ契約に向けた不動産会社との連絡調整、経済的安定のための生活保護受給申請などの支援をとおして、生活の安定化を図るお手伝いをしました。

【事例2 複数の問題を抱えた世帯】

介護を必要とする高齢(90代)の親と精神疾患を患う50代の娘が同居する世帯に対し、親が必要な介護サービスが利用できるよう、サービス利用申請や在宅生活の環境整備をはじめ、娘の病院受診の同行支援や福祉サービス利用申請の支援を行い、安心して在宅生活を続けるためのお手伝いをしました。

【事例3 コロナウイルスの影響を受けて自宅で“閉じこもり”生活を送る高齢者世帯】

コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外出自粛として自宅内に“こもりっきり”になることで身体的な(下肢筋力)低下をはじめ、気持ちの落ち込み(気力低下)を防ぐため、社協に寄せられた野菜などの食材を提供(訪問)しながら、様子を伺うなど支援を行っています。

CSWは、それぞれの担当地域に出向き、困っている世帯への訪問をとおして問題の早期発見・早期対応することで、抱えている問題がより深刻化しないよう、積極的に問題解決の“お手伝い”をしています。家計や家族関係など生活のことをはじめ、介護や福祉サービスの利用申請のお手伝いなど「困りごと」があれば、お気軽にご相談ください。

また、地域の公民館・集会所において「移動相談」を実施しています。どうぞ、お気軽にご利用ください(実施日については、本会へ問い合わせください)。



お問い合わせ:南風原町社会福祉協議会 TEL. (098) 889-3213

『住み良い環境作りを地域と共に!』

総合ビルメンテナンス業

有限会社 宜野座ビル管理

代表取締役 伊 芸 美 香

〒901-1112 : 南風原町字本部461番地-55
TEL: (098) 889-6488

消防・浄化槽・空調・警備・害虫防除・清掃・電気工事・貯水槽清掃業

博愛病院

発達障害・不安・うつ
物忘れ・睡眠・介護の相談
アルコールに関する相談

◎ デイサービスセンターはくあい
南風原町字新川485-1 TEL(098)889-4830

町民一人ひとりが地域福祉の担い手に!

～7月は社協会員加入推進月間です～

社会福祉協議会は誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進するため、地域における様々な福祉の問題について住民をはじめ関係機関団体などとともに考え、解決に向けて取り組む民間福祉団体です。

本会の財源は主に行政からの補助金や受託金、共同募金の配分金、寄附金などとなっていますが、より充実した地域福祉活動を推進する上では町民の皆様からご協力いただき社協会費は重要な財源となっています。

町民の皆様には本会事業及び活動の趣旨をご理解いただき、会員としてその活動を支えてくださいますようお願いいたします。

社協会員加入受付中 窓口は社協

- ★戸別会員(各世帯) 500円
- ★賛助会員(個人)..... 1,000円～5,000円未満
- ★特別会員(企業、個人等)..... 1口:5,000円
- ★団体会員(福祉関係機関・団体).... 10,000円

社協会費は次のような事業などに有効に活用されています

高齢者健康づくり推進事業

ちむぐる館内に設置されている健康器具などを有効活用して、高齢者の健康・生きがいを推進し、また積極的な参加を促進するため町内を巡回する福祉バスを運行しています。



高齢者健康づくり推進

友愛訪問活動促進事業

民生委員や福祉協力員などが定期的にひとり暮らし高齢者世帯などを訪問し安否の確認を行いながら、併せて孤独感の解消を図ります。



友愛訪問活動

子育て支援事業

安心して子育てすることができる環境づくりのため「子育てサロン」「子育て講演会」などを開催しています。



子育てサロン

地域福祉懇談会

地域住民を対象に社協事業を紹介するとともに、地域における福祉ニーズの把握と共有を行い、住民の福祉意識の高揚を図ります。



地域福祉懇談会

ボランティア活動事業

(10代のボランティア研修会、ボランティア養成講座)

中学生・高校生が「ボランティア体験活動」とおし、報告会を行うことで福祉のまちづくりを学びます。また、手話・音訳講座など、ボランティア養成講座も行っています。



令和2年度

手話ボランティア養成講座

【結式】

手話ボランティア養成講座

私の子育て

すくすくおおきくなあれ

座安 律子(字新川)



初めての我が子は、去年の5月に低出生体重で産まれました。小さく産まれたけれど、健康で大きな病気もなく、1歳の誕生日を迎えることができました。

「大きくなってほしい」という思いで毎日、離乳食作りに奮闘している私です。その思いとは裏腹に、我が子は徐々に好き嫌いが出てきて、嫌なものは口を閉じたり、手で顔を覆ったりします。また、手づかみが大好きなのですが、すぐには食べずにトマトを顔にくっつけてパックにしたり、バナナを髪につけてバナナトリートメントにしたりします。食パンのスティックは耳に入れ、ブロッコリーの房をちぎってはポイポイと椅子の下に落とします。やっとのことで、離乳食を終えて無残に散らばったブロッコリーを私が片付けようすると、我が子は、1つ1つ食べながら片付けてくれるのです。私はそれを見て大笑いすることがありますが、我が子は食べ物にたくさん触れて「どんなものかな?」と研究しているのでしょうか。

これからも大きくなるためにいっぱい食べ物に親しんで、私を困らせたり、笑わせたりしながらすくすく育ててほしいと願います。

ご寄附ありがとうございました

(令和3年5月1日～5月31日)

【一般寄附】

- 琉球古典音楽野村流音楽協会那覇支部様 ・ 4,000円
- 匿名希望様 ・ ・ ・ ・ ・ 13,000円

【寄 贈】

神里広様・シゲ子様より ・ ・ ・ ・ ・ お米10kg



南風原町社会福祉協議会で実施している子ども食堂での食事提供や支援している世帯への配布等で有効活用させていただきます。

- 匿名希望様 ・ ・ ・ ・ ・ おむつ(成人用)1ケース

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン



このたび、イオン琉球(株)主催による「第26回幸せの黄色いレシートキャンペーン」の贈呈式がイオン南風原店にて行われました。これはイオン琉球(株)の社会貢献活動として毎月11日の「イオン・デー」に、お買い

物をしたレシートを地域のボランティア活動を行う支援したい団体のBOXへ投函すると団体ごとに集計され、年間合計金額の1%相当が希望する物品として寄贈していただける仕組みです。

今回、本会の「子ども食堂キッチンちむぐる」も企画へ応募し、ご寄贈いただきました。ありがとうございます。

ふくクイズ!! Vol.3 の答え



Q1の答え B

ばしょ つた 場所を伝えるときは、右・左・前・後ろなどの方向と、歩数ほうこう ほすうやメートルなど具体的な数字で距離などを伝えるとわかりやすいです

Q2の答え A

せまいエレベーターの中では、うまく車いすの向きを変えることはできません。前から乗り込んで後ろ向きになります。おる先に人がいないのか、なにかぶつかるものはないか、ドアの位置など鏡を見てたしかめています



よなみね歯科クリニック

受付時間

月・火・水・金 午前9:30～午後6:00
土 午前9:30～午後5:00
祝祭日 午前9:30～午後6:00

診療科目

一般 歯 科
小児 歯 科

休 診 日 日・木

南風原町宮平59-2 1-1 Tel 800-7005